



リュウキュウサルボウ（フネガイ目フネガイ科） *Anadara antiquata*

大きさ：殻長 6cm。

特徴：南方系の大型アカガイ類。殻は重厚で、表面に殻皮を有する。食用種。

分布： 沖縄諸島以南：東南アジア、ポリネシア、マダガスカル。

希少性： **沖縄県版レッドデータブック（準絶滅危惧）**

アマモ場や岩レキ地の砂底に半ば埋まった状態で生息。 殻を少し開けて、外套膜（がいとうまく）の癒合（ゆごう）したすき間から呼吸水と共に吸い込んだプランクトンを鰓（えら）でこして食う。

泥質干潟の上に、食用種であるので、誰かが食べた後の貝殻だと思って、拾い上げようとしたら、皆一斉に貝のふたを閉めた。あやうく、指をはさまれるところであった。

近くで観察してみると、貝のすき間から、赤い体が見える。確かに、赤貝である。

泡瀬干潟には、このリュウキュウサルボウが多くすむ。